

- 生活支援  見守り  協議体
- 買物支援  配達  その他
- 移動支援  居場所づくり

## 地域の概要



薩摩川内市、JR川内駅から東方向の住宅地。地域内にはスーパーやコンビニ、高校などあり。450世帯の住宅地で薩摩川内市では最大規模。65歳以上が170名で高齢化率は18%程度



## 取組のきっかけ

他自治体の見守りについての研修に行き、自分たちにも必要な見守り活動があるのではないかと、自治会内で意見交換を行い、80歳以上の高齢者にアンケートをとり、支え合いマップを作成することで自治会内の見守りや、移送支援についてのニーズがわかった。

## 取組の目的

- 自治会内の見守り
- 有償ボランティア



## これまでの経緯

年・月	出来事
平成28年6月14日	さつま町（白男川地区）見守りについての視察研修
平成28年6月16日	自治会内で意見交換し ・支え合いマップを実施 ・アンケートを実施（80歳以上単身者39名）
平成28年 冬	アンケートと支え合いマップから見えてきたこと話し合い  ・高齢者の困りごと ・見守りが必要な人 ・見守りを行える人 それぞれのニーズを把握し、マッチングをしていく
平成29年	支え合いをリスト化し、報告書の作成した  支え合い（無償・有償ボランティア）スタート  見守り活動を開始
毎年	マップの更新をし、その都度見守りについて協議

## 活動の概要

見守り活動 訪問活動や日常生活の自然な見守り活動

有償ボランティア サロン送迎往復 1人300円

買い物・病院の送迎 1回600円 1日前に予約

見守りのネットワーク化

- ・高齢者クラブ、サロンの会、女性の会 LINEグループを作成し情報共有
- ・自治会長、民生委員、アドバイザー、社協、他 防災のためのLINEグループを作成



サロン送迎3名 久しぶりの利用となりました



## 取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

### 〔行政担当者としての役割〕

- 自治会ニーズの把握
- SCの活動のフォロー
- 自治会活動の見える化、見せる化

### 〔SCとしての役割〕

- アンケート調査や支え合いマップのフォロー
- 地域住民の方々の思いをかたちにできるようつなぎ
- 自治会としての取り組みを見える化、見せる化
- ネットワークを構築



## 現時点での到達点（効果・課題など）

### 〔効果〕

- 自治会内の見守り強化
- 住民同士の声掛けが増え、交流が密に
- 自治会内のニーズを自分たちで解決していくという考え
- 協議体として機能

### 〔課題〕

- 災害避難時の要援護について
- ICTについて
- 見守り人員の高齢化について